

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和元年度 第2回佐渡市公の施設指定管理者選定委員会(地域振興部会)
開催日時	令和元年7月26日(金)10時00分開会
場所	佐渡市役所 会議室棟 第2会議室
議題	1 募集の経過説明と第1次審査(資格審査)の報告について 2 第2次審査(申請者によるプレゼンテーション等)
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	一部非公開 (申請者の収支に係る部分は、申請者の業務において不利益となる可能性があるため、非公開とする。)
出席者	選定委員 委員長 本間雅博 委員 川島和紀、竹谷知江子、石附直人、長澤栄吉、山本康裕 総務課 課長 中川 宏 広報戦略室情報政策係 係長 倉内 学、主任 本間義也 防災管財課管財係 主任 長嶋麻紀、主任 長尾啓介
会議資料	
傍聴人の数	0人
備考	

会議の概要(発言の要旨)	
発言者	議題・発言・結果等
管財係 長嶋	委員8名中6名参加 会議成立 資料確認、説明 情報公開について説明
管財係 長嶋	募集の経過説明、第1次審査の結果報告 質疑なし
管財係 長嶋	第2次審査について説明

<p>本間委員長</p>	<p>質疑 結果については、9月議会に提案されるということか。</p>
<p>管財係 長嶋</p>	<p>9月議会での提案となる。</p>
	<p>【申請者によるプレゼンテーション】 事業計画書に沿って説明</p>
<p>長澤委員</p>	<p>質疑 審査する際のA3の資料で、7ページ10番イ「情報公開に対する対策があるのか」の質問に対して「必要に応じて対応させて頂きたい」とあるが、具体的に「対策があるのかないのか」を書いていただかないと判断できない。11番ウ「自主事業に偏りがいいのか」の質問に対して「BSデジタル事業…」等書いているが「あるのかないのか」書いてないと判断しづらい。エ「今までにない新しいサービスが計画されているか」も申請内容のところに「今後も利用者の…」等と書いてあるが「されているのかいないのか」が書き込まれていないので、判断しづらい。</p>
<p>(株)佐渡テレビジョン</p>	<p>情報公開の点は、個人情報保護法に基づいた対応をさせていただく。自主事業の偏りの部分は、満遍なくできていると考えている。一番苦慮しているのが、STBの販促で、CNSエリアではBS・CSを直接受信しているお客様が多く、STBの引き合いがない。STB事業が一番苦戦している。今までにない新しいサービスの検討だが、記載を悩んだがBS4K8Kの放送について、オリンピック放送に向けて4K放送を社内で検討中なので、BS4K対応ということになる。</p>
<p>竹谷委員</p>	<p>コンサルティングをメインにしており、その視点から気になるところが6ページの自主事業計画が、通常民間企業では事業計画は収益を上げるための計画で、過去プラスの収益になっておらず、今回の計画もマイナスの収支になっているということで、何か新しいことをしているのか。ハード面の強化は注力しているようだが、利用者が離れるには問題があるはずなので、事業計画は継続事業ばかりで、同じことをやっていて収支がプラスになっていないので、新しいことがあがってきていない。たとえばダビングサービス事業の年間25万円は、強化すればもっと伸びそう、継続ではなくこの伸び率など勘案して、収益を上げる具体的な計画があるのかと思ったが、なかった。 人件費は役員4名21名の社員でこの人件費で大丈夫なのか。スタッ</p>

<p>(株)佐渡テレビジョン</p>	<p>フの方が満足する給与となっているのか。</p> <p>人件費については、総人件費から按分しているの、発生している全ての人件費ではない。販促の活動は、ご指摘いただいたとおり、販促活動が上手にできているか自問自答しており、指定管理エリアと自社エリアを区分せず、ケーブルテレビサービスを使っていただくお客様を増やすという趣旨、目的のもと営業を行っている。月間佐渡テレビインフォメーションはひとつ紙面に全部詰め込もうとしているので、文字が小さいかなという点は反省している。もう少し分かりやすく、内容を理解しやすいよう、注意していきたいと感じている。早急に改善したいと考えている。事業の新鮮さがないという指摘は、事業の中のマイナーチェンジ、リニューアルをしている。STBに関しては新しい放送波BS4Kを流したいと考えているし、貸与させて頂いているSTBだが、ハードディスク内蔵されていたり、ハードディスクとブルーレイが内蔵、ハードディスク容量が1テラバイトから2テラバイトにアップしていたりとか、機種がいろいろあるが、それがお客様に伝えられているのかが反省材料である。</p>
<p>石附委員</p>	<p>関連で、売り上げ、加入率の問題だが、7880世帯加入はCNSだけか。</p>
<p>(株)佐渡テレビジョン</p>	<p>CNSのみ。</p>
<p>石附委員</p>	<p>佐渡テレビは。</p>
<p>(株)佐渡テレビジョン</p>	<p>佐渡テレビ 5,700 世帯位。</p>
<p>石附委員</p>	<p>そうすると全部で 12,000 世帯位。佐渡島内は、全部で 22,000～23,000 世帯位だけど、加入できる世帯は限られていると思うので、全体の中でどの位の率になるか。人口減少で増やせないというところは確かにそうだと思うが、利用のメリットというところで、増やすための方策は。</p>
<p>(株)佐渡テレビジョン</p>	<p>加入率の問題だが、ケーブルテレビの設備を計画して伝送路を敷設したときにお客様がつけざる端子をいくつ作るかを考えて、何人加入できる施設を作るかということで、最初に設備する。実際、設備に対してどの位の加入があるのかということ加入率で表すが、直近の加入率、CNSは61.66% 佐渡テレビが36.05%、両方たして47.49%。CNSの加入率は全国的に見ても非常に高い加入率とも言える。ただあくまでも61.66%の加入率は契約をしている方で、視聴している方は5700世帯位で、2,000件以上の方が契約はしているけど、視聴していない、休止</p>

	<p>している方々。私ども、休止をしている方々にもケーブルテレビをご覧になっていただけないかと、最新のコミュニティチャンネルのコンテンツを紹介して、再開していただく取り組みをしている。また従業員の数的に難しかったが外部法人を使ったアウトソーシングによる営業として、1件ずつ未加入者のお客様をまわり、加入をおすすめすることを検討している。経費との兼ね合いが出てくるので、2000件の休止世帯をまわることも1つの方法で、あまりにも経費がかかり過ぎるようであればある地区だけにして、残りの地区は自社でチームを作るなどしてやろうという危機意識はある。これだけ、毎年、60～70件の解約がかかってくる現状を鑑みると、大鉦をふるった販促活動、戸別訪問する必要があるということ認識している。</p>
川島委員	<p>CNS、佐渡テレビの強み、セールスポイントは、どういったところにあるか。</p>
(株)佐渡テレビジョン	<p>最大のセールスポイントは、コミュニティチャンネルだと思う。地域情報メディアとして佐渡で毎日起きたことを放送するデイリーニュース、やはりコミュニティチャンネルを見たいという加入される方のほとんどは、佐渡のニュースを見たいからと仰っていただく。私ども、開局以来成長出来てきたのは、離島というローカル市場であるが地域情報ニーズは高いものがあった。新潟の民放のローカル放送局があるが、佐渡のニュースはやらない。東京23区の1.5倍の面積がある佐渡では、町々でいろんなことが起きている。そういうことを拾いながら毎日ニュースをやるし、行政情報、行政からの緊急のお知らせから、あるいは災害情報とか、私どもの目指すものは、ケーブルテレビを見ないと佐渡で生活しづらいということ言ってもらえるくらいのコミュニティコンテンツの充実、そこまで持っていきたいと考えている。インターネット事業などをやっているが、これから本当に力を入れていくのは放送事業、なかでもコミュニティチャンネルの充実、これにはコストも投じるし、人も投じていきたいと考えている。</p>
川島委員	<p>コミュニティチャンネルの番組制作はどのような基準でやっているのか。契約戸数を増やしていくということの中で、加入率というか契約率は非常に高いというお話があったが、そういった中で契約を増やしていかなければいけない。そうするとケーブルテレビとして、コミュニティチャンネルとして、佐渡のどのような情報を求めているかの把握が必要だと思う。アンケートをやられているという話があったと思うが、実際のニーズはどうかということ調査をされた中で番組作りに生かしているのかどうか。</p>
(株)佐渡テレビジョン	<p>これまで指定管理受託後、2回ほど大掛かりなアンケート調査をして</p>

	<p>いる。当然、アンケートの設問の中には、コミュニティチャンネルの中でどのようなものが見たいかの設問もある。1番多いのが地域の話、次に行政情報、防災情報、災害情報、議会中継というランキングだった。それらを踏まえて番組編成を考えているが、人間的なもの、ご利用者の方々も佐渡のニュースだけを1日中見ているわけにはいかないということ、他にももう少しセールスポイントはないのかということと言われる。ニュースのリポートでは飽きられてしまうので、そこで何をしようかということで、9月から落語、講談チャンネルを取り入れようと考えている。佐渡の市場構成を考えて、ご利用者の方の大半を占める中高年の方々にコミュニティチャンネルのニュース以外に興味を持って頂くコンテンツとして、落語を入れる。私ども新潟県内のケーブル事業者と提携しており、以前は、今年4月まで新潟にあるNCVがNGT48の番組、月更新で作っていた。我々はそれを購入して、ケーブルテレビを若い方にも見ていただかなくてはならないし、若い方のテレビ離れも指摘されているし、インターネットとか、動画とかに流れていってしまって、なかなか家族そろってテレビを見ることがない。そういったところに、一石を投じようということで、「ここだけNGT48」という若者向けの30分尺の番組を流していました。佐渡の若い方も熱狂的なファンの方もいらっしゃって、ご支持を頂けた。それに変わって何をしようかということで準備をしている。</p>
川島委員	<p>マーケティング、調査、根拠に基づいてどういったニーズがあるのか、経費の問題もあるので難しいが、それを確実につかむということが重要で定期的にやると良い。ターゲット層、いわゆる属性・年齢層によって、欲しいものが違うと思うので、それに応じた広告、営業の仕方がある。広告は情報を詰め込みすぎてしまうことがある。これをシンプルにする。これは毎月出されているので、今月は、今シーズンはここを重点的に訴えようとか、今月はこの属性・ターゲット層にニーズがあるもの絞って、端的に情報を発信することも考えられると思う。</p>
(株)佐渡テレビジョン	<p>参考にさせて頂く。</p>
山本委員	<p>佐渡に来て間もないが、おもしろい番組を作って、それを見てもらう。見たいから加入するというのがあると思うので、佐渡の情報を発信するというのも大事なことだと思うけど、島外のことも欲しいのかなと思うし、今、新潟県内で新潟、長岡、上越のケーブル事業者と提携されているとのことで、それぞれが地域の情報を発信しているので、それがひとつの番組となって、連動した形で情報番組として見ることによって、また見たいなということもある。それを広げると関東圏のケーブルテレビとの提携など、番組の交流をして、色んな情報の幅が広がると、ターゲ</p>

	<p>ットとして若い人たちが見ていたものが、全体的に老若男女が見たい番組になっていく。それがまた広がって行って、非常に良い番組を作っている、いわゆる民放に負けない地方のコミュニティチャンネルは非常に楽しい番組だということで、見たいという加入したいという動機づけはそういうところからと思うので、そういった部分をされていく、そういったことを広げていってもらえれば思うがどうか。</p>
(株)佐渡テレビジョン	<p>以前から首都圏のCATV、大手のJCOMさんとかの番組をいただいて放送したり、東北地方の番組をいただいたり、県内4局と連携したり、新潟のNCVが地域の情報を扱っていないということで、共同番組を作ったり、ニュースの交換をしたりとかの実績はある。視聴アンケートをとると地域の情報ニーズが高く、島外、県外はニーズが薄れていく傾向があったもので、地域情報を深化いく方がよりニーズが高まるかなということで判断している。SNSの活用なども積極的に取り入れて、若者からニーズに答えようとしている。ケーブル局の魅力という部分で、全国に色んなケーブル局があるので、他のローカル局に負けない位の力はあるんだということを訴えていければ、ケーブルテレビの魅力アップにつながると思う。</p>
本間委員長	<p>CNSの番組で、私もありがたいと思っているのは「集まれ消防団」という番組。最近見ていると、一押し観光編でシーカヤックをやっていた。そういう番組をつくったいきさつと、一般視聴者から意見を聞くということはどういう感じで取り入れているのか説明願いたい。</p>
(株)佐渡テレビジョン	<p>「集まれ消防団」、「一押し観光編」とか、基本的にこういう番組を作りたいという部分に関しては、佐渡市とコンセプトを考えて番組作りをしている。指定管理をしているので、今まで制作で培ったノウハウを活かして、民間の力をプラスして、より視聴者が楽しめるような番組を作れるように心がけている。アイデアということでは佐渡市からもらっているという状況。</p>
本間委員長	<p>視聴者からの意見を聞くのは、どんな感じか。</p>
(株)佐渡テレビジョン	<p>総務省規定で番組審議会というものがあり、最低年1回開催することとなっている。委員は、佐渡市と(株)佐渡テレビジョンで選定して、1年間通して番組を見て頂いて、全部を審議するというのが時間的にも厳しいがあるので、基本は1つの番組を見て頂いて、感想、意見、指摘というものを頂くような会議をしている。年に2回開催しているけども、番組を指定して番組審議をしていただいている。審議委員さんも審議の前に自分の地区や近しい人からの感想や意見を聞いて頂き、審議会の中でそう</p>

	<p>いった意見を頂くようにしている。そういった意見を参考に、番組作りに反映している。「集まれ消防団」とか、どうしても行政情報は硬いイメージがあるので、ソフトな感じとかは審議委員からの意見を参考にして、番組制作に反映した。視聴者アンケートは肯定的な意見も多く、こういった番組が欲しいというのは割合的には低い。無理に変えて、今まで見ていた満足している視聴者に対して、どういう影響を与えるのかもあるが、新しいことをやっていくのも必要なので、アンケートの意見も参考にしながら少しずつ取り入れようとしている。</p> <p>個別審査表項目による審査</p> <p>審査集計を受けた意見</p> <p>60点を超えているので選定委員会として合格ということでよろしいか。</p> <p>異議なし</p> <p>選定委員会の結論としては、合格とする。</p> <p>今後のスケジュールについて説明</p> <p>閉会 12時20分</p>
本間委員長	
本間委員長	